

(報道発表資料)

2022 年 4 月 20 日

NTT アーバンソリューションズ株式会社

株式会社 NTT ファシリティーズ

NTT 都市開発株式会社

NTT コミュニケーションズ株式会社

アズビル株式会社

ダイキン工業株式会社

**NTT アーバンソリューションズ・NTT ファシリティーズ・NTT 都市開発・NTT Com・
アズビル・ダイキン工業がカーボンニュートラル実現に向け協業
～グリーントランスフォーメーションによりオフィスビルの CO₂ 排出量 2 割削減へ～**

NTT アーバンソリューションズ株式会社（以下 NTT アーバンソリューションズ）、株式会社 NTT ファシリティーズ（以下 NTT ファシリティーズ）、NTT 都市開発株式会社（以下 NTT 都市開発）、NTT コミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）、アズビル株式会社（以下 アズビル）、ダイキン工業株式会社（以下 ダイキン工業）の 6 社は、カーボンニュートラルの実現に向け、空調制御に関する協業（以下 本協業）契約を締結しました。本協業により、各社が持つ空調制御に関する技術や知見を掛け合わせ、新築・既存を問わずあらゆるビル・施設にスムーズに導入できる空調制御分野におけるグリーントランスフォーメーションソリューション（以下 GX ソリューション）を確立することで、オフィスビルをはじめとした大規模な施設の CO₂ 排出量を削減し、社会全体のカーボンニュートラル実現に大きく貢献します。

1.背景

一般的なオフィスビルや商業施設においては、エネルギー消費量の約 5 割を空調が占めており、多くのビルに空調の省エネ化に資する技術を導入することが、カーボンニュートラル実現に向けた重要な取り組みの 1 つとなっています。

新築のビルにおいては、省エネ性能の高い空調設備が導入されているケースが多い一方、既存のビルでは設備更改コストなどの事情により、省エネ性能の劣る空調設備のまま運用されているケースも多く、社会全体のカーボンニュートラルの実現に向けては、新築・既存に関わらずスムーズに導入できる GX ソリューションの確立が急務です。

2.本協業における具体的な活動内容

(1) GX ソリューションの確立

人流や快適性、エネルギーの予測を基に AI が空調運転シナリオを算出するとともに、自動制御を行う GX ソリューションを確立します。また、GX ソリューションの高度化や早期の社会実装に向け、さまざまなリソースを持つパートナー企業の参画を広く求め、活動を推進します。

(2) 新築・既存を問わずあらゆるオフィスビル・商業施設に対応できる導入手法の確立

NTT グループ所有のビル・施設において GX ソリューションの実証を重ねる中で、新築ビルだけでなく、既存のビルにも導入しやすい手法を確立します。

(3) 全国のオフィスビル・商業施設への導入・展開

NTT グループが保有している新築・既設ビル・施設への GX ソリューションの導入・展開に加え、NTT グループ外の企業が保有している全国の大規模ビル・施設 1 万棟への導入・展開をめざします。例えば、都内にある延床面積 10 万㎡を超えるビルでは、オフィスや商業施設などをもつ複合施設であることが多く、GX ソリューションを導入することで、エネルギー消費量を約 150~350 万 kWh/年（電力量換算値）、CO2 排出量を約 700~1,600t/年削減可能と試算しています。

(4) 認証制度への対応

GX ソリューションを建築物の省エネ性能に関する認証制度に対応させ、普及・拡大に取り組むことにより、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献します。

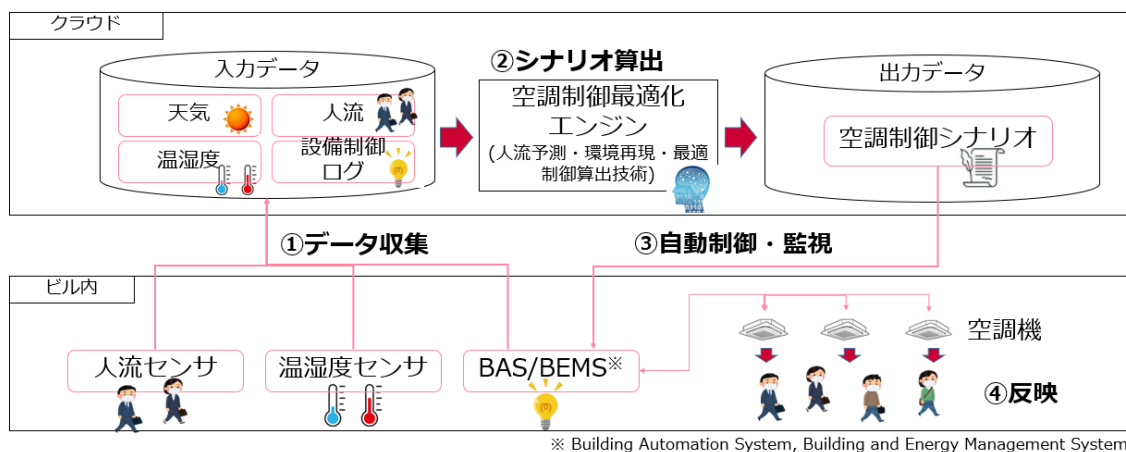


図 GX ソリューション(イメージ)

3.各社の役割

・NTT アーバンソリューションズ・NTT 都市開発：

自社が保有するアセットにおける GX ソリューションの確立・導入、環境整備などの準備

・NTT ファシリティーズ、NTT Com、アズビル、ダイキン工業：

ビル運用技術・空調制御ノウハウの提供による GX ソリューションの確立、展開

4.今後の展開

さまざまな技術を持つパートナー企業の参画を広く募集し、全国の大規模ビル・施設 1 万棟への GX ソリューションの導入をめざします。さらに、日本国内だけでなく、海外のビル・施設へも導入し、グローバル展開を進めます。

また、空調制御分野のみならず、エネルギーの可視化など、お客さまの GX ソリューションに資するさまざまなソリューションを提供し、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献します。

■カーボンニュートラル実現をめざす各社の取り組み

・NTT グループ：「NTT Green Innovation toward 2040」

<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/09/28/210928a.html>

・アズビル：「2050 年温室効果ガス排出削減長期ビジョン」

<https://www.azbil.com/jp/csr/basic/environment/overall/vision.html>

・ダイキン工業：「環境ビジョン 2050」

<https://www.daikin.co.jp/csr/company/vision>

■参考

国土交通省法人建物調査(H30)によると、日本全国における法人の保有する建物(事務所)は約 20 万棟あり、大規模(1 万㎡～)は約 4,000 棟、中規模(5,000～1 万㎡)は約 6,000 棟、小規模(～5,000 ㎡)は約 19 万棟存在。

【問い合わせ先】

NTT アーバンソリューションズ株式会社

経営企画部 広報室

03-6381-1150

株式会社 NTT ファシリティーズ

経営企画部 広報室

03-5444-5112

NTT 都市開発株式会社

経営企画部 広報室

03-6811-6241

NTT コミュニケーションズ株式会社

経営企画部 広報室

03-6700-4010

アズビル株式会社

経営企画部 広報グループ

070-4219-9296 ・ 03-6810-1006

ダイキン工業株式会社

コーポレートコミュニケーション室 広報グループ

（大阪）06-6373-4348（東京）03-6716-0112